

研究課題名	食物経口負荷試験における新規アレルギー症状誘発リスク予測モデルの検討
研究の意義・目的	本研究は大阪公立大学が行う研究です。 食物アレルギーの確定診断や治療効果の確認に不可欠である食物経口負荷試験（以下 OFC）は、アナフィラキシーを含めたアレルギー誘発症状発生のリスクが高い検査ですが、事前のアレルギー症状誘発リスクの評価と予測方法に定まったものではありません。より安全に食物経口負荷試験を行うために、アレルギー誘発リスクを予測できる精度の高い新規モデルを構築します。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日～ 2022年12月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2011年4月～2020年3月に大阪公立大学医学部附属病院の小児・新生児科で、食物アレルギーの診断・治療のため食物経口負荷試験目的に入院された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、検査データ、アレルギー摂取歴、食物経口負荷試験結果】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院小児・新生児科のみで行い、他の機関に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院小児・新生児科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 発達小児医学 研究責任者 濱崎考史
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科発達小児医学 （担当者氏名）安藤 さくら、春日 彩季 電話番号：(06) 6645-3816 メールアドレス：m2071993@med.osaka-cu.ac.jp